

## 平成24年度事業計画

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

我が国は、急速な少子高齢化による人口減少社会、超高齢社会を迎えています。地域社会を活力あるものにするには、できるだけ多くの高齢者が福祉の受け手から社会の担い手として活躍、貢献することが必要です。

これに応えるのが、地域の中核的な組織であるシルバー人材センターであり、センターは高齢者のニーズに応じた就業機会の確保を図り、事業の充実に努めなければなりません。

このため、就業開拓員を配して家庭や事業所等への取り組みを強め、受注拡大に努めます。

また、シルバー事業の推進にあたっては、安全就業を基本に請負・委任や派遣により業務の形態に応じた適正就業に努めます。

財政面におきましては、当センターの契約金額は、平成20年秋のリーマン・ショック以降、昨年の東日本大震災やヨーロッパ政府債務危機等による経済不況により、受注額の落ち込みから回復せず低迷が続いています。また、政府の事業仕分けにより補助金が大幅かつ急激に削減されています。このため、昨年度にも増して経費の削減に努めるとともに、財源の確保のため具体検討を進めます。

本年は、昭和62年7月に当シルバー人材センターが設立されて以来記念すべき25周年にあたります。20周年以降の資料を取りまとめるとともに会員の声を集め、30周年に向けた取り組みを進めます。

昨年から公益社団法人への移行準備を進めてきましたが、3月26日に移行認定書が交付され、登記手続き等が完了すればいよいよ4月1日から公益社団法人としてスタートします。運営面においても厳格な対応が求められますので、名称にふさわしいシルバー人材センターとして、今後ともシルバーの原点である「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、健全な事業運営に努め、魅力あるシルバー人材センター創出とともに事業活動を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。

具体的な計画として、

### 1. 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

兵庫県シルバー人材センター協会をはじめ、関係機関と連携を図るとともに、他シルバーの状況など情報を収集し、会員への提供を行う。

また、シルバー人材センター事業について市民などへの啓発を図る。

- (1) 会報あここの発行（年4回発行）
- (2) 市広報あここのよによる啓発（毎月）
- (3) リーフレット等の配布

(4) ホームページの更新

2. 就業機会の拡大及び提供

(1) 就業機会創出員を配置し、事業所、家庭等の訪問をはじめ、地域内の就業情報を収集するとともに、団塊の世代の入会が本格化するに伴い就業先確保等の拡大に努める。

(2) 就業基準に基づき、長期就業の是正、就業ローテーション等を実践することにより、就業機会の拡大を図るとともに就業相談を実施する。

(3) 高齢者の就業に関する計画事業量は次のとおりとする。

・受託事業 (単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	300	1,500	100	500	400	2,000
技 能	5,500	41,000	1,000	13,500	6,500	54,500
事務整理	600	1,500	400	2,000	1,000	3,500
管理監視	8,000	51,025	2,300	15,500	10,300	66,525
折衝外交	1,800	3,175	-	-	1,800	3,175
一般作業	49,000	196,125	13,000	85,000	62,000	281,125
サービス	900	4,000	1,400	12,000	2,300	16,000
合 計	66,100	298,325	18,200	128,500	84,300	426,825

・派遣事業 (兵庫県シルバー人材センター協会赤穂市事務所) (単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	240	2,200	-	-	240	2,200
技 能	120	1,000	-	-	120	1,000
事務整理	-	-	-	-	-	-
管理監視	-	-	-	-	-	-
折衝外交	-	-	-	-	-	-
一般作業	3,240	29,000	-	-	3,240	29,000
サービス	-	-	-	-	-	-
合 計	3,600	32,200	-	-	3,600	32,200

・合 計 (単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	540	3,700	100	500	640	4,200
技 能	5,620	42,000	1,000	13,500	6,620	55,500
事務整理	600	1,500	400	2,000	1,000	3,500
管理監視	8,000	51,025	2,300	15,500	10,300	66,525
折衝外交	1,800	3,175	-	-	1,800	3,175
一般作業	52,240	225,125	13,000	85,000	65,240	310,125
サービス	900	4,000	1,400	12,000	2,300	16,000
合 計	69,700	330,525	18,200	128,500	87,900	459,025

3. 就業に必要な知識・技能の向上

発注者の多様なニーズに適切に応え、信頼が得られるよう会員の資質向上と技能習得を目指し、必要に応じ講習会を実施する。

#### 4. 安全就業と健康管理の徹底

会員の健康保持、安全基準遵守による就業事故防止及び交通事故防止に努め、引き続き「事故ゼロ運動」を展開する。

- (1) 交通安全講習会の実施
- (2) 就業前の機械器具の点検の励行
- (3) 安全・適正就業委員会を中心とした就業先安全パトロールの実施
- (4) 健康管理講習会の実施

#### 5. 会員の親睦と組織体制の充実

「共働・共助」の理念のもと親睦委員会主導で、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るとともに組織体制の充実を図る。

- (1) ボランティア活動の実施
- (2) グラウンドゴルフ大会の開催
- (3) 一泊研修旅行の実施
- (4) 赤穂義士祭奉賛行事の開催
- (5) サークル活動の育成
- (6) 地域班区割り見直し及び職群班の体制強化と自主的な事業推進

#### 6. 適正就業の推進

会員の就業状況の再点検を行い、請負・委任又は派遣等の業務形態に応じた適正就業を推進する。

#### 7. 財政基盤の確立

- (1) 前年度に引き続き事務事業を見直し、効率的な運営と経費の削減を図る。
- (2) 財源確保を図るため、事務費率の見直し等の検討を行う。

#### 8. 公益社団法人としての事業

公益社団法人への移行を契機に社会的役割を再確認し、新定款に定められた総会、理事会等を開催して適格な運営に努めるとともに25周年の資料を取りまとめる。

資金調達及び設備投資の見込みについて  
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1. 資金調達の見込みについて

期中に借入りの予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。